

ちば山 50 周年記念山行 山行報告 大滝谷

【山城】北アルプス北部 大滝谷～白鳥山

【コース】落合橋～大滝谷廻行～白鳥山～登山道下降～坂田峠

【山行形態】沢登り

【日時】2016年9月17～18日

【天気】1日目曇り（夜雨） 2日目雨

【メンバー】CL 平野直、SL 上茂、SL 花島、小原、小俣、萱野香、澤田淳、前田、宮城、平野良(記)

【タイム】1日目 入溪 7:40ーテン場（標高約 500m） 16:10

2日目 出発 6:30ー支流分岐 9:10ー白鳥小屋 12:50ー坂田峠 14:20（15:15）

【報告】

前日（16日）の21時頃に、配車した2台の車で各々千葉を出発し、宿泊場所の「道の駅市振」に向かう。関越道、上信越道、北陸道を順調に移動した。宿泊場所周辺にはコンビニが無いので糸魚川インターで降りて、2日分の行動食を買い出した。道の駅には2時頃到着。駐車している車は多く、テントで大声を出さないように（出ていたかも）軽く宴会をして、3時過ぎに就寝。

翌日は6時起床、朝食をとり出発準備をして入溪場所に向かう。当初予定のタクシー移動では、車の回収が大変になると判断し、車1台を翌日の下山予定場所にデポした。入溪予定の落合橋が見つからず、大滝谷の分岐から入溪することとした。

入溪すると、いきなり小さな堰堤が出てきて、ショルダーも使って乗り越える。次の大きな堰堤は大きく巻いた。その後は、ゴーロの多い沢を歩き、順調に高度を上げていく。この調子なら、予定の標高1000m地点も余裕でたどり着けそう。しかし、予想外の湿度と気温で全身汗でびしょ濡れになり、体力は徐々に消耗していった。

11時半頃、標高500m程の所で、たまたまGPSを見たOさんが、大滝谷を外れて1本南の沢にいることに気が付き、一同愕然。仕方なく分岐まで下って戻る。みな無言。このロスで1時間半近くを無駄にってしまった。分岐まで戻り大滝谷を登り始めると、F1の滝が出てきて右岸を巻く。ロープを出すと、1巻きで1時間程度はかかるため、なかなか高度を稼げない。その後も、遅れを挽回しようと皆がんばって、へつつて突っ張って滑って落ちながら、澄んだ水の美しい沢を登って行った。

少し薄暮になりかけた16時過ぎ、標高500m程の地点で、Hさんが沢から一段上がった場所に絶好のテン場を見つける。手分けしてタープ張り、マキ集め、水汲み、夕食の準備をして、担ぎ上げたアルコール類で乾杯。湿ったマキで苦戦したが無事に焚き火にも火がつき、手の込んだつまみやキノコ汁で楽しく宴会。

宴会中に、それまで何とかもっていた空から雨が落ち始め、そろそろ寝る準備という頃に土砂降りになった。タープの間から水が漏れ、ロープを伝って雨水が入り、地面にも水が溜まり銀マットの上まで浸水。それでも何とかそれぞれ寝床を見つけて、タープを叩きつける雨音の中就寝。

翌朝は4時起床の予定であったが、疲れのせいか皆なかなか起きられない。降り続く雨の中、お湯を沸かして朝食をとり準備をして6時半に出発。沢の水はやや増えたように感じ

たが、澄んだ水の中を遡行開始。前日の頑張りで足が重い中、遅れを取り戻そうと歩みを進める。ところが、歩き始めて暫くすると、徐々に水量が増え始め、水も濁り始める。その後、どんどん水量が増えて濁流になっていく。そのまま遡行すると上部で危険な状況も想定されたため、リーダーの判断で9時過ぎに標高750m程の地点で左の支流の沢に入り、白鳥山の西側の尾根に上がるルートに変更した。

支流の沢は、普段はほとんど水が無いと思われたが、大雨で適度な水量で適度な難度の沢となり、1か所ロープを使ったシャワークライムを楽しみながら、快適に高度を上げることが出来た。

11時前には尾根に上がることが出来たが、そこからヤブ漕ぎが延々と続く。そんなに濃い藪ではないが、少し前と離れると姿が見えなくなり、あわてて声を掛けながら後続が続いていく。途中、雨が上がり日も差したと思ったが、また雨が降り始め、足元が悪いヤブ漕ぎが続く。先が見えない中、2時間ほど歩き続けて13時前にやっと白鳥小屋に到着した。白鳥小屋で、本隊の柘植さんのメモを確認し、リーダーが長池さんと電話連絡をとり状況を確認した。

当初の親不知海岸までのルートは時間的に困難と判断し、車の回収班を含めて、全員坂田峠から舗装路を下るルートに変更することとした。坂田峠からデポした車までもかなり距離があるため、先行グループが急いで降りて車を回収して、後続グループを迎えに行くこととした。

リーダー、サブリーダーHさん、Oさん、Hの4名が、先行グループとして沢状になった登山道を走り下った。1時間強で14:20に坂田峠に到着し、Oさんを除く3名はザックをその場にデポして、車を目指してランで舗装路を下った。後続も順調に下山し、15:15に坂田峠に到着、舗装路を下り始めた。車を回収した先行グループが後続を迎えに行き、舗装路の途中で全員を車に乗せて親不知観光ホテルに行き、16時頃にやっと本隊と会うことが出来た。

その後、「まるたん坊」でお湯につかり、2日分の疲れを癒し、全員で美味しい食事とお酒を堪能できた。

19日の移動日は、生憎の雨が続く天候のため、親不知の海岸は断念し、糸魚川にある「フォッサマグナミュージアム」の見学に行った。田舎の公園にある施設のため、大した期待もせずに行ってみたが、中は、糸魚川で採取できるヒスイを中心とした、世界中の石の展示があり、その石が作られた地球の歴史などが幅広くわかりやすく展示されていた。また、案内をしてくれるおじさんが、一緒についてまわってわかりやすく説明をしてくれて、展示にも様々な仕掛けがあり、午前中いっぱい充実して勉強できた。ちなみに、リーダーがヒスイではないかと拾ってきた石を専門家が鑑定してくれて、残念ながら（当然）ヒスイではないことも判明した。

皆、限界を超えて頑張ったせいかな全身筋肉痛で、Uさんはロボットの様に歩いていた。渋滞の高速道路を回避するため一般道も使いながら、21時過ぎに無事帰葉した。

今回の山行は、生憎の天候の上にルートミスもあり、厳しい状況もあったが、10人がそれぞれの個性を発揮してフォローしあうことで、大変な状況でも明るく楽しく過ごすことができた。また、自然の厳しさの中に身を置くことで、普段周りにある文明の利器を改めて有り難く感じることができた。ありがとうございました。



堰堤を乗り越える



順調に遡行



正規ルート of F 1 の滝



滝を巻いて登る



がんばって高度を上げる



大股でエイヤ



突っ張ってエイヤ



快適なテン場設営



楽しく宴会



2日目の朝 雨の中の記念撮影



足が滑ってドボン



次第に濁流に



チロリアンで荷揚げ



白鳥小屋に到着

以上